

上長尾環境保全活動組織（安曇野市）

・組織の活動面積	A= 44.97 ha
・組織の構成員数	約 380 人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 ■
取組開始年度	平成24年～	—	平成24年～

構成員	上長尾区、上長尾開田工区、子供育成会、ボランティア会、PTA、地区公民館、氏子総代、営農組合、他
-----	--

○組織の概要

安曇野市の南西に位置する本地域は、水田・果樹に囲まれた緑豊かな地域です。この環境を求め移り住む住民も増え続けています。

この住みよい環境を守るため、また住んでいて良かったと思える郷づくりのために、農地・環境への影響が懸念される外来種(アレチウリ)の駆除活動、遊休農地を利用した景観形成活動、蛍などの生物が棲みやすい環境の整備に取り組んでいます。

私たちの地域で私たちができることを

外来種の駆除



アレチウリはきゅうりの苗にそっくりです。駆除の適期に実施しないと3m以上に成長し、根を探し出すのに苦労します。



初参加の方は、葛と見分けがつかず最初は苦労していましたが、作業が終わるころには目慣れ、すぐに見分けることができるようになりました。日常生活範囲で目に付く外来種に関心を持っていただけたと思います。なお急斜面では十分な安全確保に努める必要があります。

景観形成活動



遊休地の草刈です。ベテランから指導を受け、りっぱな作物の育つ農地へ生まれ変わらせてみせます。



試行錯誤の結果、作物は大きく実りました。大満足です！もろこしの収穫体験には地域の子供約50人が参加し、「初めてだったけどうまく取れてうれしかった」と話す笑顔が印象的でした。商品とは違い、大きさのそろわない野菜や害虫等の被害もありましたが、自分たちで育てた満足感があります。りっぱな農作物を生産・出荷する農家の皆さんは「プロだな」と感じました。

生物が暮らせる施設環境の管理



地区でめっきり少なくなった蛍。何とか復活させたいものです。

蛍が好む環境を勉強し、いざ環境整備です。ヤマメや沢ガニといった生物の発見、土水路の美しさなど、地域資源の素晴らしさを再確認できました。農業用水ですので、継続的な維持活動も続けています。

